

広島女学院大学 ヒノハラホール

CATEGORY: SCHOOL RESTROOM



女性配慮からパウダーコーナーを新設。
木目調を取り入れた落ち着いたある上品なレストルーム空間へ。

広島女学院大学は2016年に創立130年を迎えたプロテスタント系の女子大学。
ヒノハラホールはカフェテリアやフィットネスルームなど、さまざまな施設が充実した、
学生たちの憩いの場。改修前のトイレは和式便器の設置率が90%を占めるなど老朽化が
見られたことから、2016年度の施設・設備計画ではトイレ改修を最優先とし全フロアの改修を行った。
設計にあたっては、随所に学生や女性職員の要望を取り入れ女性配慮にこだわったトイレとなっている。
内装のインテリアは伝統ある校風を取り入れ、華美にならない上品な木目調の仕上げ材を採用。
「社会に巣立つ大人への準備ステップ」をテーマに落ち着いたある空間を実現した。

[広島女学院大学 ヒノハラホール]

工事概要 : トイレ改修工事

所在地 : 広島県広島市東区牛田東

施主 : 学校法人広島女学院

設計 : TOTOアクアエンジニア株式会社

施工 : TOTOアクアエンジニア株式会社

竣工年月 : 2017年12月



外観

改修前



洗面コーナー



大便器ブース



パウダーコーナー



ブース



小便器コーナー

改修後



洗面コーナー



大便器ブース



パウダーコーナー



ブース



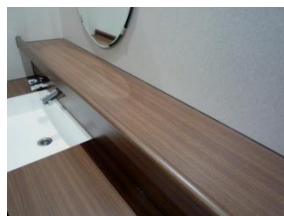
小便器コーナー

□広島女学院大学 ヒノハラホール

CATEGORY: SCHOOL RESTROOM

5F 女性トイレ

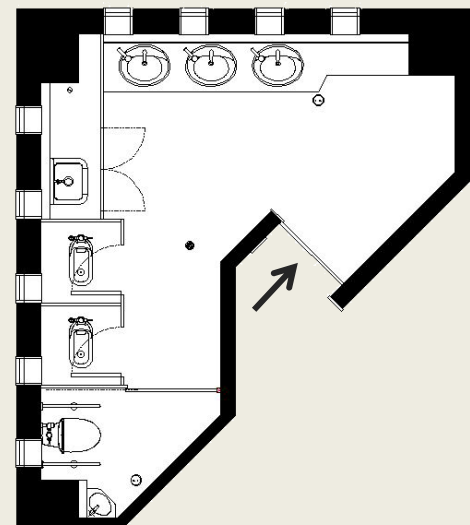
木目調の仕上げ材が生きる、落ち着いた雰囲気のパウダーコーナー。
間仕切りを設置することで個別感を高め、隣の視線を気にせず見繕い
をすることができる。また棚やフックで荷物配慮も充実させた。



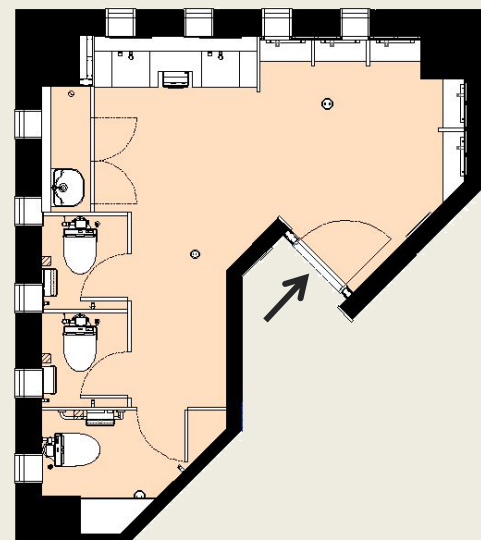
洗面コーナーは新たに荷物棚
を設置し使いやすさに配慮。
手洗い後の床への水垂れを
抑えるため、洗面器の間に
クリーンドライを設置して
いる。



改修前



改修後



□広島女学院大学 ヒノハラホール

CATEGORY: SCHOOL RESTROOM

5F 女性トイレ

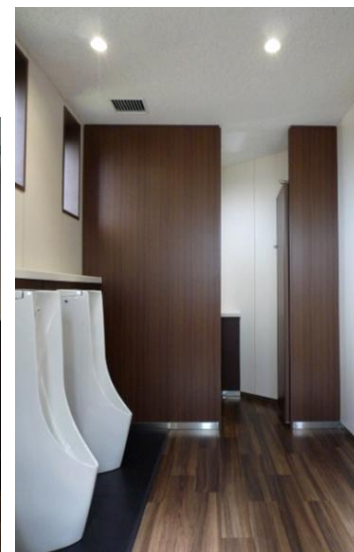
すべての大便器を洋式便器とし、ウォシュレットを搭載。落ち着いた木目調のブースはプライベート感のある間仕切り天井タイプを採用し、防犯性も高めた。また広めのブース内にはフィッティングボードや荷物棚を設置し、着替えなどにも配慮している。



1F 多目的トイレ



5F 男性トイレ



1Fには、多機能トイレを設置。学園祭やオープンキャンパスなどの行事で来校するさまざまなゲストに対応するため、車いす利用者やお子様連れに配慮している。